



## 中央アルプス「駒ヶ岳」 南信森林管理署

### 一 はじめに

木曾谷と伊那谷、二つの谷の間にそびえ立つ中央アルプス。花崗岩の白さとハイマツの緑に包まれた美しいカール地形は中央アルプスならではのものです。登山の途中足を止めると、そこには何千年も前から続く自然の営みがあり、私たちが黙って包んでいてくれることに気がつきます。

### 二 中央アルプスの概要

中央アルプスは、本州のほぼ中央に位置し、木曾川と天竜川の分水嶺をなしています。元々は木曾山脈といわれ、南北の距離約九十km、東西の幅約十km前後の圏内に三千m級の山々が連なっています。

主峰は駒ヶ岳(二、九五六m)、北は経ヶ岳(二、二九六m)から南は恵那山(二、一九〇m)までの長



宝剣岳と千畳敷カール

野島の南部を縦断する大きな山脈です。

中央アルプスが出来はじめたのは約百万年前といわれ、東西からの大きな圧力によって隆起を繰り返しながら現在の山脈になったとされています。

地形は急峻で標高六〇〇mの山麓から一気に二、五〇〇mに達しています。

谷は滝が連続する素晴らしい景観で、ふもとには山脈に平行して出来た断層による段上に急流が押し出して扇状地を造りながら、同時に中央部を削り取って造られた田切地形が多数見られます。

高山地帯には、氷河期に造られたいくつかのカール地形が見られます。



夏の千畳敷カール

す。中でも千畳敷カールは有名で、コバイケイソウやチングルマなどの高山植物と相まって非常に美しい景観を見せてくれます。

中央アルプスの大部分は花崗岩地帯で、崩れやすいという特徴がありますが、白砂とハイマツ、高山植物とのコントラストはとても美しいです。

今では千畳敷までロープウェイが設置され、気軽に行けるようになりましたが、空木岳、南駒ヶ岳などの南部の山々は、静かで雄大な昔ながらの山岳の良さを残しています。

この自然は過去から未来に預かったみんなの宝物です。

大自然の素晴らしさを一人でも多くの人に伝えて行きたいものです。

### アクセス方法

#### ・ロープウェイ利用

○JR利用の方

JR駒ヶ根駅からしらび平まで専用バスで

しらび平駅から千畳敷駅まで

ロープウェイで

(マイカー利用の方は中央道駒ヶ根ICで降り右折、駒ヶ根市菅

の台で専用バスに乗換え、前項と同様に千畳敷駅までロープ

ウェイにて)

#### ・徒歩(登山道)

北部に登るルートだけでも十本前後の道があり、ロープウェイ以外でも時間をかけて楽しめる登山もでき、最近再び注目されてきています。